



ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.

会津縦貫道

「会津縦貫道」は、地域高規格道路「会津縦貫北道路」「会津縦貫南道路」

にふさわしい道路名称を公募し、平成21年7月27日道路名称選定委員会にて選定した名称です。



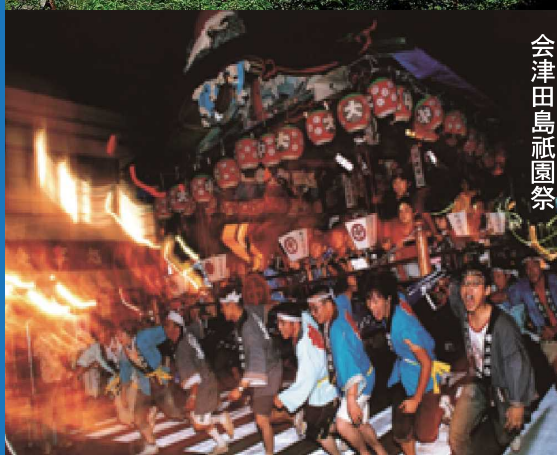
米沢上杉まつり



三津谷レンガ蔵群



鶴ヶ城天守閣



会津田島祇園祭



日光東照宮

米沢 喜多方 会津若松 南会津 日光

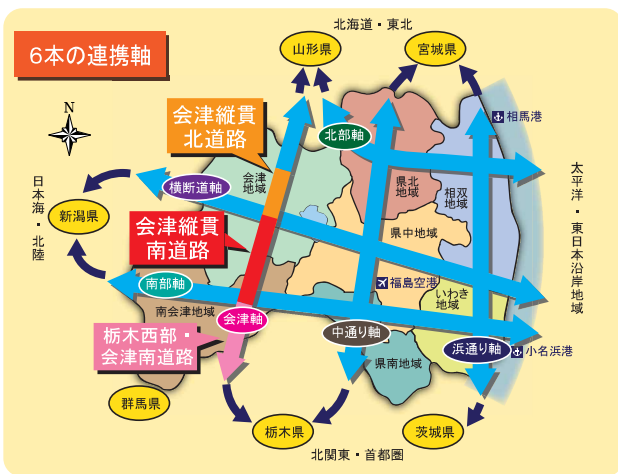
会津縦貫道とは

福島県が多極ネットワークを強化します。

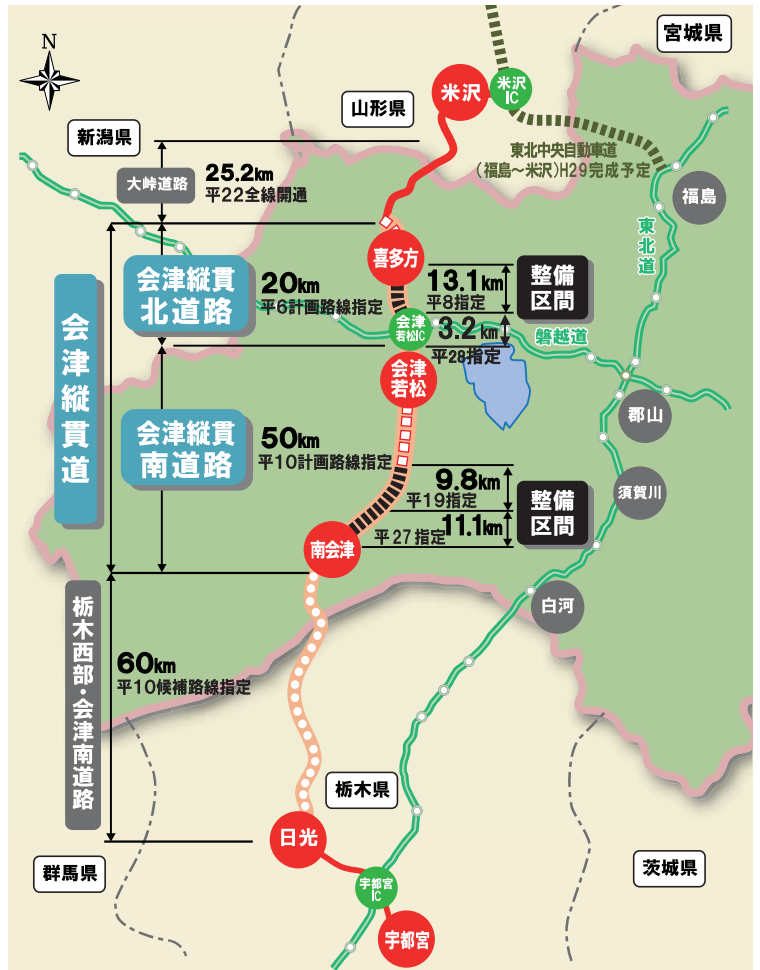
「会津縦貫道」(会津縦貫北道路、会津縦貫南道路)は、福島県の地域整備の骨格をなす6本(南北3本、東西3本)の多極ネットワーク形成軸の一つであり、米沢～会津～日光を結ぶ重要な路線です。

福島県が多極ネットワーク

広域的な交流が促進されます。



会津縦貫道は、福島県の地域整備の骨格をなす多極形成軸の一つとして、会津軸を形成する重要な路線です。豊かな自然・文化を生かした産業振興と地域づくり、活力と美しさに満ちた持続可能な生活・交流圏の拡大が期待されます。



事業の経緯

■会津縦貫北道路

平成 6年12月	地域高規格道路の計画路線に指定
平成 8年 8月	喜多方市南部～会津若松市北部間 L=13.1kmが整備区間に指定
平成 9年度～	国の直轄権限代行により事業着手
平成14年度	工事着手(塩川IC～湯川北IC間 L=3.2km)
平成21年10月	塩川IC～湯川北IC間 L=3.2kmの開通【暫定2車線】
平成23年11月	喜多方IC～塩川IC間 L=4.7kmの開通【暫定2車線】
平成25年9月	湯川北IC～湯川南IC間 L=2.2kmの開通【暫定2車線】
平成27年9月	湯川南IC～会津若松北IC間 L=3.0kmの開通【暫定2車線】
平成28年4月	会津若松市の一部区間(3km)が整備区間に指定 若松北バイパス(3.2km)を補助事業(地域高規格道路)として事業着手(事業主体:福島県)

■会津縦貫南道路

平成10年 6月	地域高規格道路の計画路線に指定
平成11年12月	下郷町の一部区間(小沼崎～塩生間9km)が調査区間に指定
平成14年度	小沼崎バイパス(1.5km)を一般国道改築事業として事業着手(事業主体:福島県)
平成19年 3月	下郷町の一部区間(小沼崎～塩生間9km)が整備区間に指定 下郷町～南会津町の一部区間(9km)が調査区間に指定
平成19年度	湯野上バイパス(8.3km)を国道改築事業(地域高規格道路)として事業着手(事業主体:福島県)
平成24年度	湯野上バイパス(8.3km)が国の直轄権限代行により事業着手(事業主体:国)
平成27年4月	下郷町～南会津町の一部区間(11km)が整備区間に指定 下郷田島バイパス(11.1km)を補助事業(地域高規格道路)として事業着手(事業主体:福島県)

地域高規格道路とは…

高速自動車国道などの高規格幹線道路と一体的に機能する広域道路のうち、自動車専用道路もしくはこれと同等の高い規格を有し、おおむね 60km/h 以上のサービス速度を提供できる道路です。

会津縦貫道の整備概要

(平成28年4月現在)

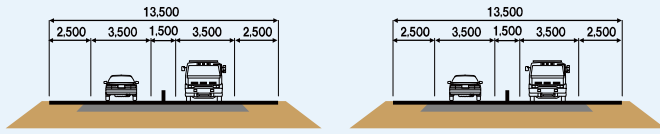
【整備状況】

計画路線 (概略延長)	区間指定			供用延長	供用率
	調査区間 (概略延長)	整備区間	延長		
会津縦貫北道路	20km	16km	16km	13km	81%
会津縦貫南道路	50km	21km	21km	0km	0%
栃木西部・会津南道路	【候補路線】(約60km)				

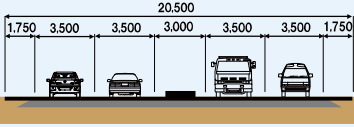
【標準横断図】

【会津縦貫北道路】

暫定形 (2車線)



完成形 (4車線)



【会津縦貫南道路】

大峠道路

L=25.2km
H22.9 全線開通

会津縦貫北

H6.12.16 計画路線

H8.8.30 整

(平23.11.6)
供用済

1工区
L=4.7km

山形県
米沢市

喜多の郷

121

喜多方建設事務所

喜多方IC

蔵のまち

塩川

喜多方市



凡例

- <道路網>
 - 高速道路・IC
 - 一般国道
 - 主要地方道
 - 一般県道
 - 県境
 - 市町村境
- 第3次医療施設
 - 主要な病院
 - 建設事務所
- <観光種別>
 - 自然
 - 文化・歴史
 - イベント
 - 温泉

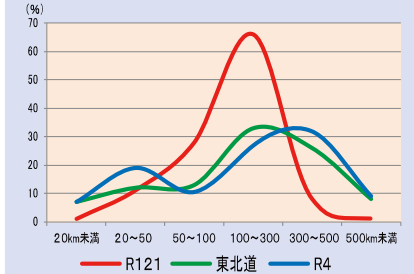
この地図は、国土地理院長の了承を得て、同院発行の数値地図50000複製したものである。(承認番号 平24情複、第933号)

会津縦貫道の整備効果

物流活性化

産業活動の広域化が期待されます。

国道121号のトリップ長(1回に走行する長さ)は100km以上が大半を占め、国道4号や東北自動車道と類似しており、広域流通の機能の拡充や付加価値の高い産業を誘発したり、地元の産業の活性化が期待されます。



▲トリップ長の比較

アスパラガス生産農家 湯田さん (南会津町)

- 朝取り野菜など鮮度が命ですが、南会津の国道は道が悪く、運送業者も無理をしたがりません。道の悪さで近隣の産地に負けてしまいます。
- 会津縦貫道ができれば、市場にいち早く出荷することが可能となります。大変魅力的なことです。

(有) エコニューム 星さん (南会津町内で電子機器を製造)

- 縦貫道整備により、取引圏域の拡大は勿論、人材、技術の交流が広がります。

福島県喜多方市
蔵のまち (喜多方市街地)
観光入込数 : 140.7 万人 / 年

福島県会津若
鶴ヶ城天守閣
観光入込数 :



会津縦貫道

道路

全長 L=約20km

整備区間 L=13.1km

(平21.10.4) 2工区 L=3.2km
 (平25.9.8) 3工区 L=2.2km
 (平27.9.6) 4工区 L=3.0km

会津中央病院
救命救急センター
▲飯盛山

東山温泉

1工区
L=約7km

2工区
L=約10km

会津医療センター

会津若松北IC

竹田綜合病院

湯川北IC

湯川南IC

4-2工区
若松北BP
L=3.2km

若松西BP
L=6.8km

整備区間 H28.4.1

あいつ 湯川・会津坂下

湯川村

新鶴スマートIC

伊佐須美神社

会津坂下町

会津美里町

会津坂下IC

柳津町

縮尺 1 : 125,000

0 2.5 5km

会津若松市

59.9万人 / 年

福島県会津若松市

東山温泉

観光入込数 : 47.4万人 / 年

福島県柳津町

福満虚空蔵尊圓蔵寺

観光入込数 : 47.4万人 / 年

福島県会津美里町

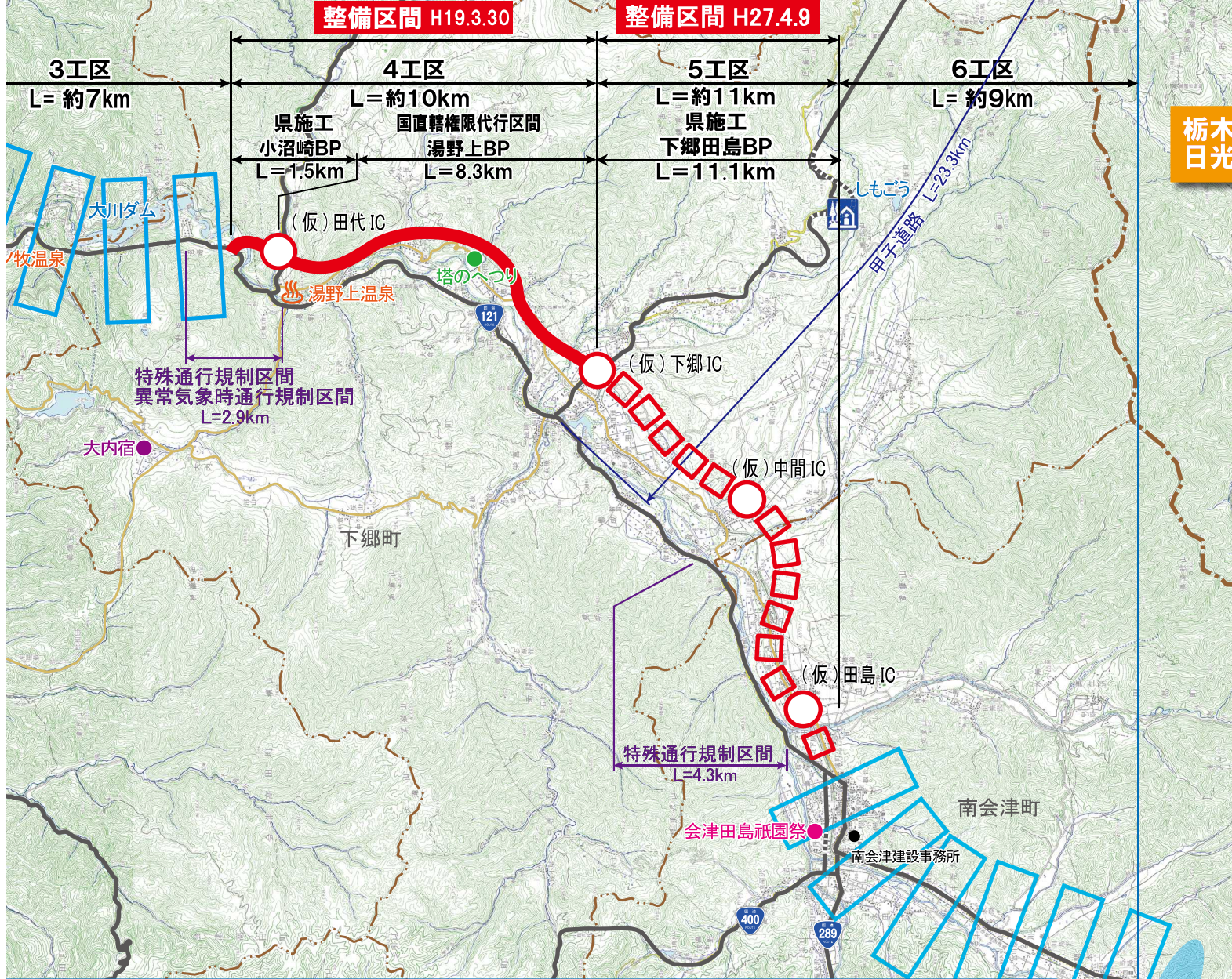
伊佐須美神社 (お田植祭り)

観光入込数 : 145.4万人 / 年



会津縦貫南道路

0.6.16 計画路線 L=約50km



福島県下郷町 大内宿

観光入込数：79.1万人／年



福島県南会津町 会津田島祇園祭

観光入込数：8.5万人／年



福島県檜枝岐村 尾瀬国立公園

観光入込数：9.8万人／年



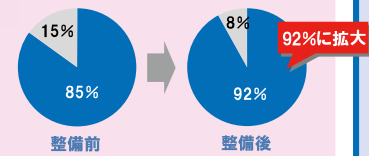
出典：福島県「観光客入込状況」（平成26年分）

高速空白地帯の解消

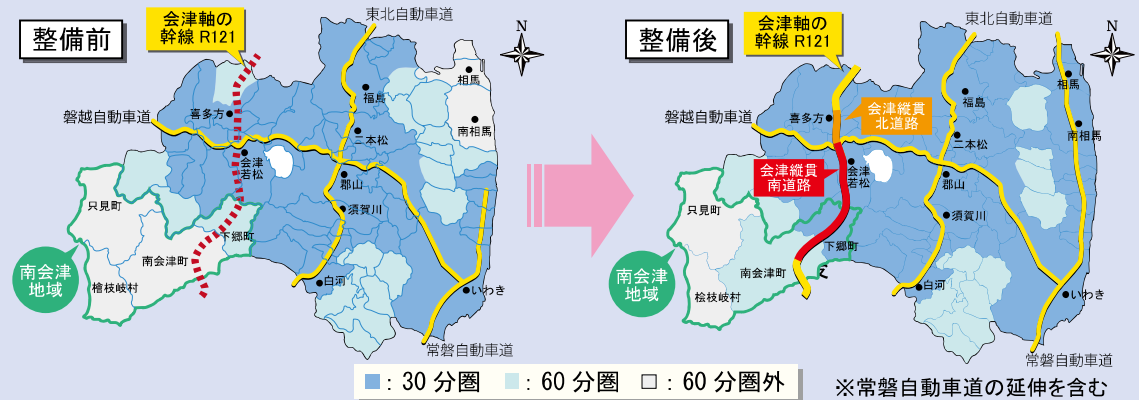
広域的な移動時間が短縮します。

会津地域には高速交通体系のいわゆる「空白地帯」が残っています。会津縦貫道の整備により、喜多方地域は概ね30分圏域をカバーするとともに、南会津地域は大幅な時間の短縮により、就労機会や日常生活の利便性・活性化の向上が期待されます。

県内高速ICアクセス 60分圏域

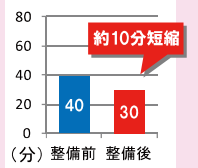


【市町村の中心地から高速道路ICまでの時間】

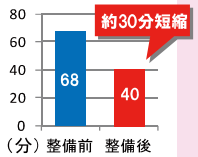


所要時間の短縮

【喜多方～会津若松】



【南会津～会津若松】



観光促進

観光地として相互発展に寄与します。

宮城・山形・福島・栃木4県による「栃木・南東北国際観光テーマ地区外客来訪促進計画」を支援します。

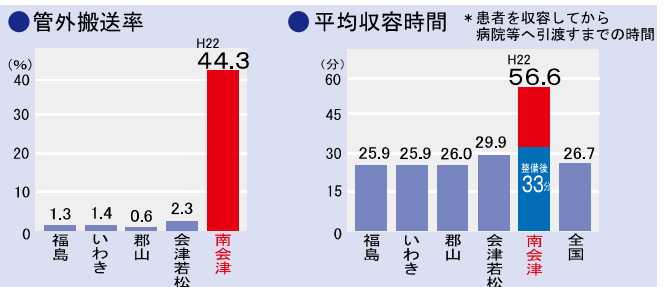
国内外の観光客の行動圏が拡大し、観光周遊化が促進され、さらなる観光魅力度のアップが期待されます。



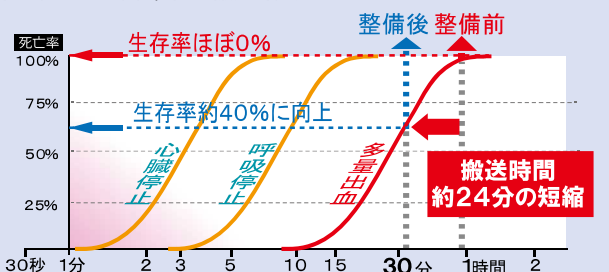
アクセス向上

救急患者の搬送時間が大幅に短縮されます。

南会津地域の管外搬送率は40%を超え、重症救急患者を受け入れる第3次医療施設（会津若松市）への救急搬送時間に1時間近く要しています。会津縦貫道の整備により、これが約24分短縮されます。



● 要因別の死亡率と時間の相関 (南会津町～会津若松間の搬送時間)



安全

防災・災害時の救助活動の確保。

国道 118 号、国道 121 号は極めて急峻な地形のため自然災害に脆弱であり、通行止めが度々発生しています。

特に、下郷町や南会津町は迂回路が無い区間であり、災害発生などの緊急時や救急搬送時などにおいて、緊急輸送路としての信頼性が低い道路であることから、安全で安心な道路の確保が急務となっています。

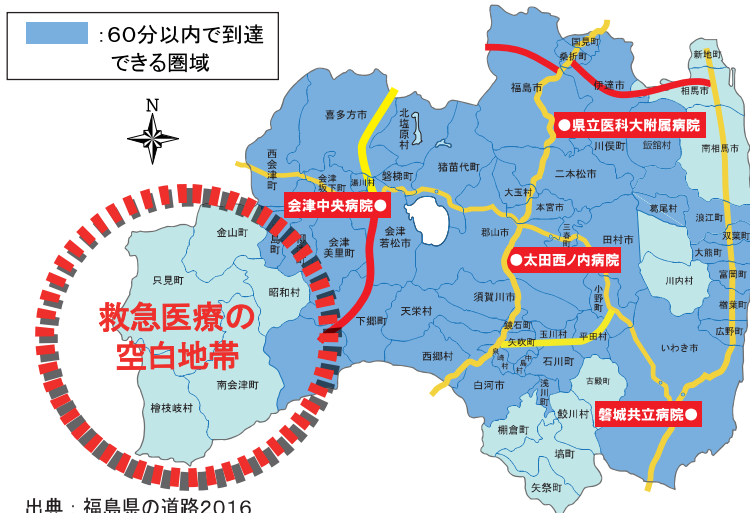


▲南会津町向山地区内（5 工区）での落石

◀南会津町八千窪地区内（5 工区）での路面凍結による交通事故

救急医療サービスの拡大。

【救命救急センターへ 60 分以内で到達できる範囲（平成 27 年度末）】



安心

救急搬送時の輸送時間は生命の安全確保に大きな影響を与えます。南会津地域には救命救急を担う第 3 次救急医療施設が無く、高度な救急医療を実施できる病院に到達するまでに 60 分以上の時間がかかる「救急医療の空白地帯」が広く存在しており、救急搬送時間の短縮が重要です。

出典：福島県の道路 2016

活力

渋滞解消と地域連携の強化。

会津北地域と南会津地域の連携を強化することで、産業経済や観光振興の発展が期待されています。

しかし、喜多方方面の国道 121 号では、通勤・通学時に交通混雑が発生しやすい状況にあり、一方、南会津地域の観光地である「大内宿」では、行楽期の深刻な交通渋滞が発生するなど、地域発展の支障になることが懸念されています。



▲国道 121 号の渋滞状況（喜多方方面 / 冬期）

写真提供：国土交通省 東北地方整備局

◀大内宿周辺の国道渋滞状況

ネットワークの強化

会津縦貫道は東日本の骨格として、災害に強い道路網を構築します。

東日本大震災では、浜通り地方の常磐道や国道6号、中通り地方の国道4号が被災・寸断されましたが、会津地方は被害が少なく、多くの支援物資が国道118号や国道121号を通り各被災地へ搬送され緊急時の輸送路としての役割を果たしました。

関東と宮城・山形方面を結ぶ大動脈として常磐道（浜通り軸）、東北道（中通り軸）があり、さらに会津縦貫道（会津軸）が整備されることにより、広域ネットワークの多重性（リダンダンシー）が確保され災害時の交通途絶リスクを低減することができます。



▲国道118号・国道121号利用による支援物資搬送



▲東日本大震災による土砂崩落状況（国道4号 福島市）

写真提供：国土交通省 東北地方整備局



▲東日本大震災による道路崩壊（国道6号 広野町）

写真提供：国土交通省 東北地方整備局



▲東日本大震災による道路崩壊（常磐道 水戸IC～那珂IC）

写真提供：NEXCO 東日本



● お問い合わせ ●

- 《福島県土木部高速道路室》 電話：024-521-7478 E-mail：kousoku@pref.fukushima.lg.jp
- 《福島県会津若松建設事務所》 電話：0242-29-5336 E-mail：wakamatsu.ken@pref.fukushima.lg.jp
- 《福島県喜多方建設事務所》 電話：0241-24-5717 E-mail：kitakata.ken@pref.fukushima.lg.jp
- 《福島県南会津建設事務所》 電話：0241-62-5315 E-mail：minamiaizu.ken@pref.fukushima.lg.jp